



岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校
令和7年度 学校だより
～ 4月号 ～
令和7年 4月15日発行

令和7年度が始まりました 校長 前本 大智

4月に入り、今年度も小岩五中関係者の皆様方や地域の皆様方の温かいご支援のもと、無事に新年度を開始させることができました。入学式は、お天気に恵まれ清々しい気持ちで、教職員、在校生一同で58名の新入生をお迎えすることができました。例年になく、寒暖差の影響もあって、この時期には珍しく桜の花が残り新入生の新生活をお祝いしているように感じました。新学期が始まり一週間あまりですが、生徒の活動の様子、そこで私がお話したこと等を振り返ってみたいと思います。

4月7日(月) 始業式

新2年生、新3年生になった在校生は、春休みを挟んで無事に登校することができました。非常に落ち着いた様子で、始業式に臨み上級生らしく行動することができました。また、翌日の入学式準備では、さすが新3年生、新2年生という手際よさと素早い行動が光りました。事前準備も大変素晴らしく、上級生らしく場をわきまえて動ける集団になり始めてきたと感じました。

始業式で私は、今年度を始めるにあたり、2つのことを提案しました。

1. 他を認めあい、争いのない学校にしましょう 2. 幅広く学ぶことに力を入れましょう

皆それぞれ違いがあって当たり前です。意見や考え方、感じ方等々全て違います。その違いを乗り越えて協力していくことが、これからの時代にとっても必要だと思います。情報が氾濫し、洪水のように押し寄せてくる時代に生きる君たち中学生が真偽を見抜いて正しく生きていくために何が必要かと考えました。時間は有限です。争っている暇はありません。そして各個人、個人が自分なりの目標のもと、中学生としてやらなければいけないこと、知らなければいけないことに集中していくことが大切だと考えます。

4月8日(火) 入学式

真新しい大きめの制服に身を包み、初々しい姿の新入生をお迎えできたことは、我々教職員一同、在校生にとっても大変喜ばしいことでした。この、中学生になったという節目を良い機会と捉え、心も体も大きく成長させていけるよう、教職員一丸となって学校教育に取り組んでいく決意をすることができた素晴らしい入学式でした。入学式の中で、新入生に対し3つのことを提案しました。

1. 自分らしさを追求しよう 2. 友だちと認め合おう 3. 挑戦する心をもとう

他と比べるのではなく、自分を確立していくことを考え始めるのが、中学時代だと思います。自分らしさとは何なのかを発見していくためにも、これから行われる様々な学校活動で友だちのよさを認め合い、協力し未知なるものに挑戦していく、苦手と勝手に決めつけていたことに再挑戦していくことを心に留めておいて欲しいと思います。

最後に、今年度も保護者の皆様、下小岩地区の皆様、鹿骨地区の皆様の本校に対するご理解・ご協力によって学校教育活動を始められますこと、大変感謝いたします。予定されております各地域行事等に生徒とともに参加させていただきながら、学校同様に様々な経験を本校生徒が積み重ねていけるよい機会となりますようご指導のほどよろしくお願い申し上げます。